

## 研究・調査報告書

分類番号		報告書番号	担当
A-133	A-152	20-007	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
<b>題名（原題／訳）</b>			
Harmful drinking is associated with mental health conditions and other risk behaviours in Australian young people 有害飲酒は若年オーストラリア人のメンタルヘルス障害や他のリスク行動と関連する			
<b>執筆者</b>			
Lima F, Sims S, O'Donnell M.			
<b>掲載誌</b>			
Aust N Z J Public Health. 2020 Jun;44(3):201-207. doi: 10.1111/1753-6405.12978.			
<b>キーワード</b>			<b>PMID</b>
青少年、有害飲酒、メンタルヘルス、リスク行動			32364653
<b>要 旨</b>			
<p><b>目的：</b> 有害飲酒はメンタルヘルス障害や自殺企図・自傷・危険な性交渉等のリスク行動との関連が報告されている。若年者はアルコールの有害作用を受けやすいため、青年期の有害飲酒はメンタルヘルス障害やリスク行動と関連するという仮説のもと、その関連を調べた。</p> <p><b>方法：</b> 7つの主要なメンタルヘルス障害の有病率を調べた4～17歳のオーストラリア青少年の代表コホートである、Young Minds Matter調査の第二回のデータ(2013年6月～2014年4月)を使用した。6,310人の保護者への面談、11～17歳の2,967人の若者への自己申告アンケート調査を実施し、2314人から回答を得た。過去1年以内のメンタルヘルス障害はDiagnostic Interview Schedule for Children Version IVにより同定し、リスク行動は、昨年の自殺企図および自傷行為とした。30日以内の1回4ドリンク以上飲酒を有害飲酒と定義した。ロジスティック回帰モデルを用いて、メンタルヘルス障害やリスク行動と有害飲酒の関連を評価した。</p> <p><b>結果：</b> 過去1年以内におけるメンタルヘルス障害と有害飲酒に強い関連を認め、社会人口統計学的背景を調整した調整オッズ比(OR)は1.61(95%信頼区間[CI]: 1.09-2.39)であった。深刻なメンタルヘルス障害では有害飲酒との関連がより強かった(OR: 4.40, 95%CI: 1.98-9.75)。また、抑うつ(OR 2.47, 95%CI 1.67-3.64)、自傷行為(OR 3.09, 95%CI 2.02-4.82)、自殺企図(OR 5.84, 95%CI 2.60-13.09)も有害飲酒との関連を認めた。</p> <p><b>結論：</b> 飲酒は青少年の健康に悪影響を与える可能性がある。飲酒とメンタルヘルス障害には双方向の関連性があり、一方が存在するともう一方のリスクは約2倍になる。問題の併存性により、若者においてメンタルヘルスとアルコール使用障害双方に対する集約的政策の必要性が示唆される。</p>			